

滋賀県立高等学校再編計画をご覧になる皆様へ

滋賀県立高等学校再編計画は平成24年12月20日に策定されています。

このため、本文・資料中に表記されている現学年は平成24年12月現在の学年となっています。ご注意ください。

(例)

現中3生 → 平成24年度の中学校・特別支援学校中学部3年生

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編計画の概要～

平成24年12月 滋賀県教育委員会

高校に入学するすべての子どもたちが、充実した学校生活を送る中で、希望する進路を実現し、また自己実現を図ることができるよう、魅力と活力ある学校づくりに向けて「滋賀県立高等学校再編計画」を策定しました。

この計画に基づいて、県立高等学校の再編を進めていきます。

県立高等学校の現状と課題

社会の変化

- 少子高齢化、情報化、グローバル化、科学技術の高度化

98%を超える高校等への進学率

- 生徒の興味・関心、進路に対する考え方の多様化
- 依然として多い編入学、転入学を希望する生徒

生徒の志望や進路状況の変化

- 普通科高校への進学割合が高い状態
- 職業系専門学科から上級学校へ進学する生徒の増加

定時制・通信制課程の役割の変化

- 働きながら学ぶ生徒の減少
- 多様な目的やニーズを持った生徒の増加
- 職業系専門学科を希望する生徒の減少

中学校卒業(予定)者数の推移と学校規模の変化

- ピーク時から生徒数が約6,000人減少
中学校卒業者数 【平成2年3月】 20,747人 → 【平成24年3月】 14,226人
- 1学年あたり5学級以下となる学校数は大幅に増加
【平成2年度】 45校のうち4校 (8.9%) → 【平成24年度】 46校のうち21校 (45.7%)

これらの現状や課題に対応するため、
県立高等学校の再編による教育環境の整備が
必要となっています

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

【基本計画】
平成33年度までの概ね
10年後を見据えた考え方

希望する進路が実現できる学校

生徒が自らの興味・関心、
進路希望等に応じた学習
ができる学校

学校行事や部活動などの
取組を活発に行うことが
できる学校

自己実現ができる学校

生徒や教師との幅広い出
会い、集団活動を通して互
いに刺激し合うことができ
る学校

県立高等学校再編の基本的な考え方

教育における不易の取組

- 基礎・基本の徹底
- 自主自律の精神の涵養
- 自然や地域と共生する力の育成

魅力ある学校づくりの推進

- 新しいタイプの学校の設置
- 時代に対応した教育の推進等
- キャリア教育の推進
- 職業教育の充実

活力ある学校づくりの推進

- 多様な学びの提供
- 定時制課程の見直し
- 中高一貫教育校の方向性
- 学校活力の維持向上

再編を進めるにあたって

- ◇ 地域の実情に配慮
- ◇ 計画内容と進め方を広く周知
- ◇ これまでの成果等を活かした発展的な再編
- ◇ 地域ごとの募集定員の確保
- ◇ 再編計画の円滑な実施のための計画的な予算措置

※ 再編計画の詳細については、滋賀県教育委員会(県立高等学校再編計画)ホームページ
(<http://www.pref.shiga.jp/edu/sogo/saihenkeikaku.html>)をご覧ください。

各地域の再編の概要

大津地域(大津市)

理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

- ◆ 瀬田工業高校(全日制)と瀬田高校(定時制)の統合、工業学科の小学科改編
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)

理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、都市近郊型農業を特色とする農業教育など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

- ◆ 湖南農業高校農業学科の小学科改編 ◆ 新しい英語教育の取組の推進
- ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

甲賀地域(甲賀市、湖南市)

理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の展開など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を目指します。

- ◆ 信楽高校の学科改編、県外募集、地域と連携した教育活動の展開
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

湖東地域(彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡)

新しいタイプの学校の設置、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、農業教育や工業教育の充実、学校統合による多様な学びの中から夢の実現を支援する新校の設置など、それぞれの再編方針に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、生徒が意欲を持って学習に取り組んでいける教育を推進します。

- ◆ 総合単位制高校の設置 [能登川高校の改編]
(彦根東高校定時制課程の廃止、彦根工業高校定時制課程の存置)
- ◆ 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合による新しい学校の設置<1学年9学級>
- ◆ 八日市南高校農業学科の小学科改編
- ◆ 彦根工業高校と八幡工業高校の工業学科の小学科改編
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

湖北地域(長浜市、米原市)

理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、農業教育の充実、学校統合による大学等への進学指導に重点を置く新校の設置、定時制課程の学科改編など、それぞれの再編方針に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、湖北の地で子どもたちが進路希望等に応じて学ぶことのできる環境をつくります。

- ◆ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置<1学年8学級>
- ◆ 中高一貫教育校は、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置
- ◆ 長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置(長浜高校福祉学科の廃止)
- ◆ 長浜農業高校農業学科の小学科改編
- ◆ 長浜北星高校定時制課程の総合学科への学科改編
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

湖西地域(高島市)

理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上を目指します。

- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

※ SSH(スーパーサイエンスハイスクール)・・・将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校として文部科学省が指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行う取組。現在、膳所高校・彦根東高校・虎姫高校が指定されている。

具体的な再編内容

【実施計画】
平成25年度から概ね5年間の再編内容

新しいタイプの
学校の設置

① 総合単位制高校の設置 [能登川高校の改編]	再編年度	想定する学校規模	
	平成26年度	1学年 全日制 3学級	定時制(午後・夜間) 2学級
	学科構成 普通科(単位制による全日制および定時制) 【図1】参照		

生徒の多様な学習ニーズに対応した柔軟な学びのシステムによる、全日制および定時制(午後・夜間)併置の総合単位制高校を設置します(能登川高校の改編)。この高校の定時制課程では、1日4時間の学習を基本としますが、生徒一人ひとりが自分に合った時間割を組み、所属する課程・部以外の時間帯の授業を受けることにより、3年での卒業が可能です。

統合による
新しい学校の設置

② 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合による新しい学校の設置	再編年度	想定する学校規模	設置場所
	平成28年度	1学年 9学級	彦根翔陽高校校地
	学科構成 総合学科 普通・商業・家庭の系列を設置		統合の進め方 【図5】参照

彦根西高校で培ってきた普通科と家庭学科の教育資源と彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列とを融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置します。この高校では、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校を目指します。

③ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置	再編年度	想定する学校規模	学科構成
	平成28年度	1学年 8学級	普通科
	設置場所 長浜高校校地(長浜高等養護学校は長浜北星高校校地に新築移転) 【図2】参照		統合の進め方 【図6】参照

湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ、大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な普通科単独校を設置します。この高校では、長浜市で展開されている英語教育の成果を高校教育につなげるとともに、高等学校における新しい英語教育の全県のモデル校とし、思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指します。また、長浜高等養護学校は、長浜北星高校校地に新築移転し、教育環境を改善するとともに、駅からの利便性が向上します。

地域に根ざした
学校づくり

④ 信楽高校の学科改編等	再編年度	想定する学校規模	
	平成26年度	1学年 2学級	
	学科構成 総合学科 普通・セラミック・デザインの3系列を設置		

通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高校を普通・セラミック・デザインの3系列を持つ総合学科へ改編します。また、地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。その上で、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。

職業系専門学科
の改編等

⑤ 長浜農業高校・湖南農業高校・八日市南高校の農業学科の小学科改編	再編年度	想定する学校規模	学科構成
	平成26年度	長浜農業高校 1学年 4学級 湖南農業高校 1学年 4学級 八日市南高校 1学年 3学級	【図3】参照

農業学科の小学科を分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化(6次産業化)、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。また、大学等の上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実に努めます。

⑥ 瀬田工業高校・彦根工業高校・八幡工業高校の工業学科の小学科改編	再編年度	想定する学校規模	学科構成
	平成26年度	瀬田工業高校 1学年 7学級 彦根工業高校 1学年 6学級 八幡工業高校 1学年 6学級	【図4】参照

細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、分かりやすい学科体系に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成します。また、化学系小学科と建設系小学科を設置する学校を見直し、施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより、専門学科としての教育内容の充実に努めます。

⑦ 瀬田工業高校と瀬田高校の統合 [瀬田工業高校定時制課程の設置]	再編年度	想定する学校規模	
	平成26年度	1学年 全日制 7学級/定時制(夜間) 1学級	
	学科構成 全日制:機械科、電気科、化学工業科/定時制:機械・電気科		

同一敷地内に設置されている瀬田工業高校(全日制)と瀬田高校(定時制)を統合し、全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実に努めます。併せて、定時制課程の機械科と電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とします。

総合学科の充実

⑧ 長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置(長浜高校福祉学科の廃止)	再編年度	想定する学校規模	
	平成26年度	1学年 6学級	
	学科構成 総合学科 普通・工業・商業・福祉の系列を設置		

長浜北星高校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として教育内容の充実に努めます。併せて、長浜高校の福祉学科は廃止します。福祉系列では、生徒の進路希望に応じて上級学校への進学や介護福祉士の受験資格取得を目指す生徒にも対応できる教育課程を設定します。

定時制課程の見直し

⑨ 長浜北星高校定時制課程の学科改編	再編年度	想定する学校規模	
	平成26年度	定時制(夜間) 1学年 1学級	
	学科構成 総合学科 普通・商業の系列を設置		

3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程が編成できるよう、長浜北星高校の定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編します。

⑩ 彦根東高校定時制課程の廃止 [彦根工業高校定時制課程は現行どおり存置]	再編年度	想定する学校規模	
	平成26年度	1学年 1学級	

普通科の総合単位制高校を湖東地域に設置することに伴い、平成26年度入学者選抜から、彦根東高校の定時制課程の募集を停止します。平成25年度以前に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証し、平成25年度入学者が卒業する平成29年3月まで彦根東高校の定時制課程は存続します。

【図1】 ① 総合単位制高校の設置 [能登川高校の改編]

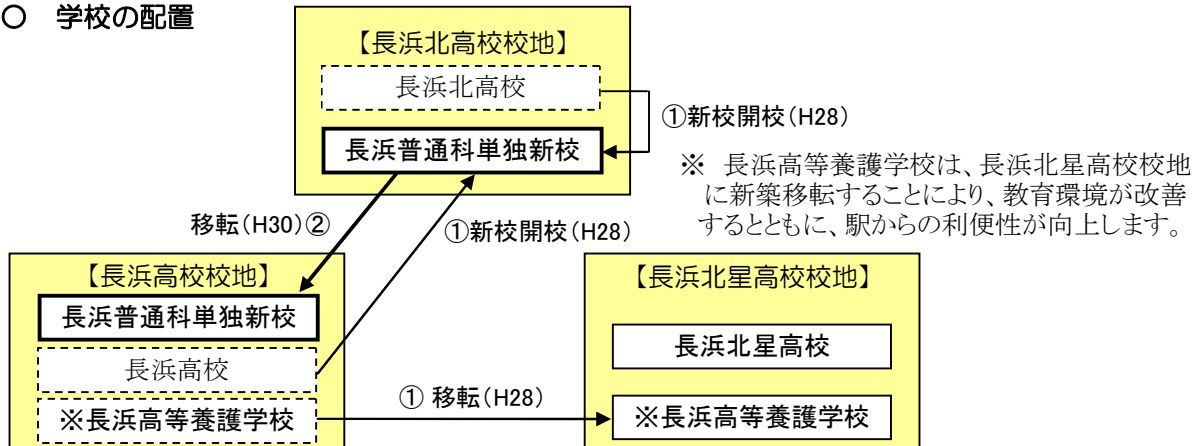
○ 全日制と定時制併置の総合単位制高校の授業展開のイメージ

時限	午前(8:50~12:40)				午後(13:10~17:00)				夜間(17:30~21:00)			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
授業展開	全日制				併修							
			併修		定時制(午後部)				併修			
									併修			
									定時制(夜間部)			

興味・関心や進路希望等に応じて、全日制と定時制の授業を相互に学ぶことができます(併修)。例えば、定時制(午後部)の生徒は、原則5~8時限の授業を受けます。さらに、全日制の3・4時限、定時制(夜間部)の9・10時限の講座を選択することもでき、3年での卒業が可能です。

【図2】 ③ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置

○ 学校の配置



【図3】 ⑤ 農業学科の小学科改編

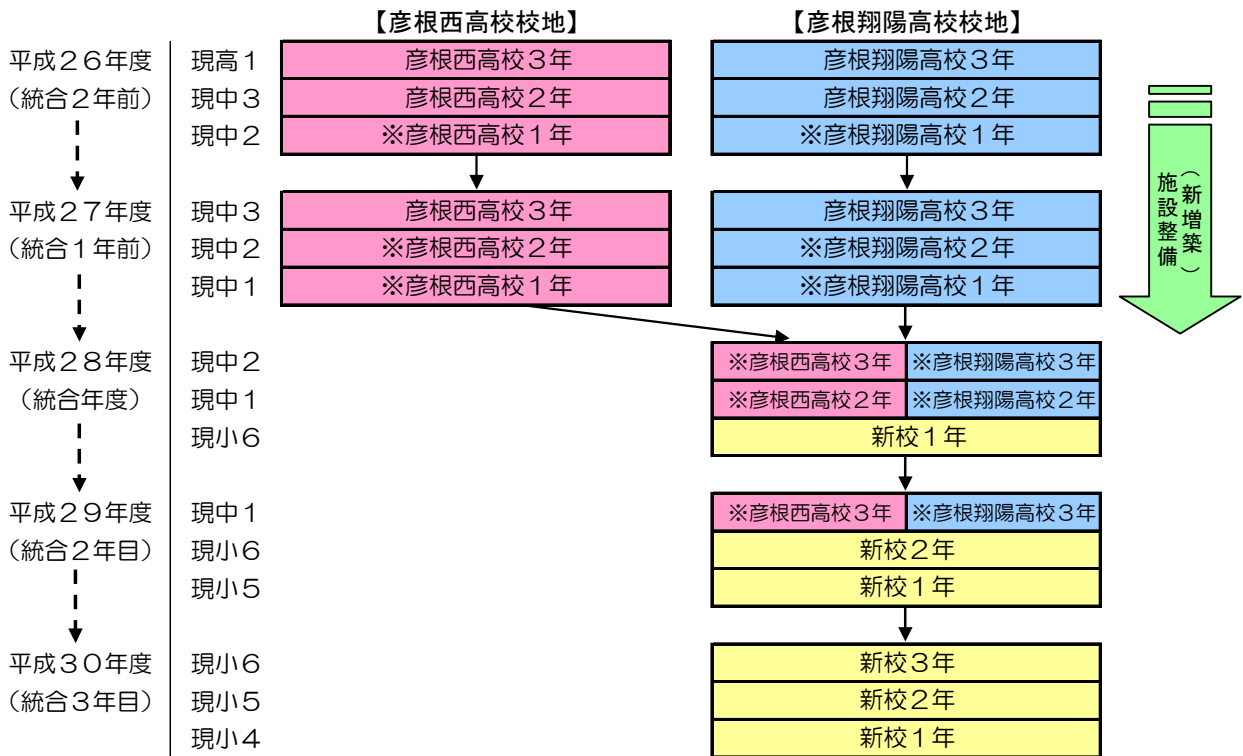
〔改編前〕	〔改編後〕
【長浜農業高校】 生物活用科 ガーデン科 食品科学科 環境デザイン科	農業科 食品科 園芸科
【湖南農業高校】 農業技術科 園芸工学科 食品化学科 環境緑地科	農業科 食品科 花緑科
【八日市南高校】 農業技術科 食品流通科 緑地デザイン科	農業科 食品科 花緑デザイン科

【図4】 ⑥ 工業学科の小学科改編

〔改編前〕	〔改編後〕
【瀬田工業高校】 機械科 電気科 情報電子科 化学工業科	機械科 電気科 化学工業科
【彦根工業高校】 機械科 電気科 情報技術科 建設科 環境化学科	機械科 電気科 建設科
【八幡工業高校】 機械科 電気科 情報電子科 建築科 環境化学科	機械科 電気科 環境化学科

【図5】 ② 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合による新しい学校の設置

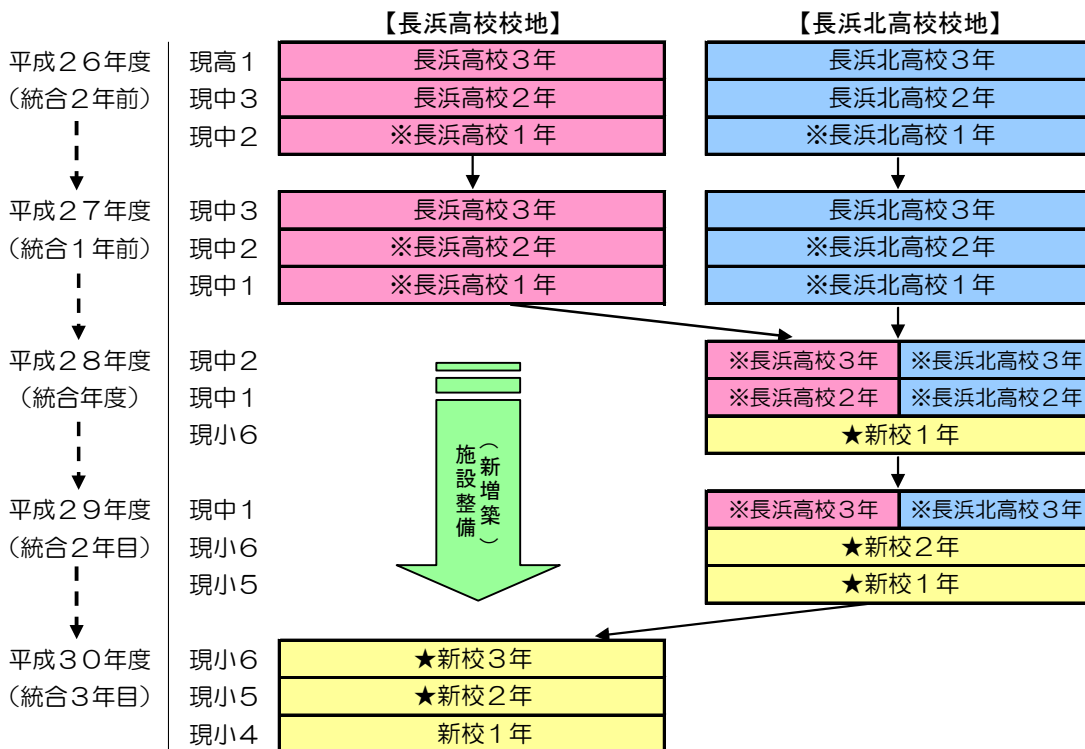
○ 統合の進め方



※ 平成26年度および平成27年度に彦根西高校および彦根翔陽高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現彦根翔陽高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)

【図6】 ③ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置

○ 統合の進め方



※ 平成26年度および平成27年度に長浜高校および長浜北高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現長浜北高校校地で学習します。

★ 平成28年度および平成29年度に新校に入学した生徒は、平成30年度から現長浜高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)